

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業名	地域高規格道路 <small>くもとあまくさかんせん</small> 熊本天草幹線道路 一般国道324号 <small>ほんど</small> 本渡道路	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県天草市港町 <small>あまくさしみなとまち</small> 至：熊本県天草市志柿町 <small>あまくさししかきまち</small>	延長	1. 3 km		
事業概要					
<p>熊本天草幹線道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市（旧本渡市）を結ぶ延長70kmの地域高規格道路として計画されており、熊本市と県内主要都市を90分で結ぶ構想（90分構想）の実現に必要な主要幹線道路である。</p> <p>事業区間は、熊本天草幹線道路の一部として、上述の役割を果たすとともに、天草瀬戸大橋前後区間の朝夕の慢性的な交通渋滞の解消や、事故・災害時の代替路確保等を図るために整備するものである。</p>					
H25年度事業化	H24年度都市計画決定 H28年度都市計画決定変更	H27年度用地着手	H29年度工事着手		
全体事業費	約196億円	事業進捗率	約30%	供用済延長	— km
計画交通量	9,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1. 1 (残事業) 1. 6	総費用： (残事業)/(事業全体) 119/174 億円 (事業費：117/172億円) 維持管理費：1.3/1.3億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 194/194億円 (走行時間短縮便益：162/162 億円) (走行経費減少便益：22/ 22 億円) (交通事故減少便益：10/ 10 億円)	基準年： 令和元年	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.0~1.2(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.5~1.8(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.2(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.1(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.6~1.6(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①交通混雑の緩和 ・本渡道路への交通量転換による本渡市街地の交通混雑の緩和。</p> <p>②災害に強いネットワーク構築 ・災害・緊急時における天草上島と下島のリダンダンシー確保。</p> <p>③地域産業の支援 ・速達性の向上、定時性確保による天草地域の水産業及び観光産業等への支援。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
沿線市町村による熊本天草間幹線道路整備促進期成会等からは毎年要望書が提出されており、依然として整備に対する要望は高い状況にある。					
事業評価監視委員会の意見					
総事業費増及びその根拠を確認したので、90分構想の実現と事故・災害時のリダンダンシー確保に向けて事業を推進して欲しい。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
当該事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約30%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地取得が完了しており、今後は令和4年度開通に向け、橋梁等工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
建設発生土の有効活用等、今後もコスト縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	前回再評価時点から、事業の必要性、重要性は変化なく、総事業費増に伴う費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。